

羽田空港新飛行経路について

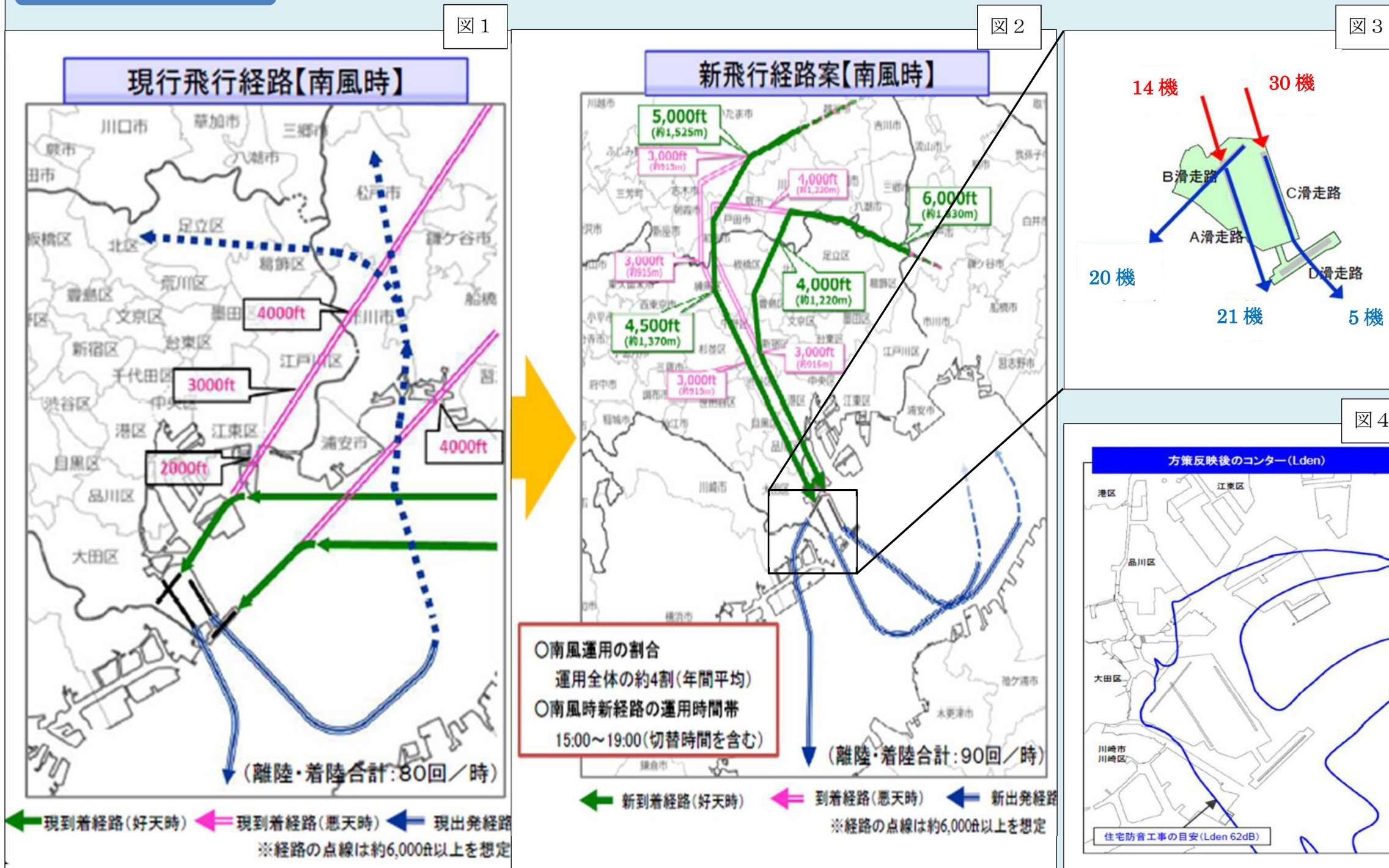
これまでの経緯

- H26.7.8 国土交通省より技術検討小委員会の中とりまとめとして、新飛行経路案を公表
- H27.8.9 第1フェーズ説明会開催（延べ5日間） 区役所第2庁舎3階ロビー、アトレ大井町（859名）
- H28.1.11 第2フェーズ説明会開催（延べ5日間） アトレ大井町、大崎ニューシティ（1377名）
- H28.7.28 第4回 首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会にて、国から環境影響等に配慮した方策が出された
- H28.7.29 同方策の公表（国交省HPにて）
- H29.2.11 第3フェーズ説明会開催 アトレ大井町（396名）
- H29.11.29 第4フェーズ説明会開催 大崎ニューシティ（739名）
- H30.3.26 国より「落下物対策総合パッケージ」が公表された

今後の予定

- 説明会の継続的な開催（国土交通省）
- 説明が不十分とする地域の声はまだ多いことから、国に対し引き続き丁寧な説明と、落下物対策や騒音環境の軽減に向けた具体的な対応策を強く求めていく

滑走路運用・新飛行経路



環境影響等に配慮した方策

運用の工夫

- (1) 飛行経路
- ◆南風時の新到着経路に係る進入開始高度の引き上げ
 - ◆南風時の新たな滑走路運用に係る使用便数の調整によるB滑走路からの出発機の便数の削減(24機⇒20機)
 - ◆北風時の新出発経路に係る朝の運用時間の後ろ倒し(6:00~10:30⇒7:00~11:30)
- (2) 現行飛行経路
- ◆北風時の現行到着経路に係る富津沖海上ルートの新なる活用

環境対策

- ◆騒音に配慮した料金体系の導入による低騒音機の導入促進
- ◆学校・病院等の防音工事(防音工事実施基準の見直し)

安全対策

- ◆外国航空機を含めた安全対策の徹底
- ◆落下物対策の徹底・強化

その他

- ◆住民への引き続きの丁寧な情報提供